

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達心理学		必修 (福) 選択 (理.作)	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>発達心理学を学ぶことは、医療・福祉の現場で専門家として人を理解し援助するために欠かせない心理学の専門知識である。生涯発達の観点に立ち、人とかかわりの中で生活を営んでいる人間について考えること、乳幼児期から高齢期まで各発達段階特有の身体的・心理的特徴を理解し、考察することを目的とする。</p> <p><概要>発達心理学の諸理論に基づいた基礎的な理論及び各発達課題、心理的問題などについて検討できることを目的とし意見交換を行う。小レポートに対するフィードバック、質疑応答で理解を深める。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、同時双方向型授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	問いからはじめる発達心理学 /著:坂上裕子 他 /有斐閣ストウディア /2014 必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	生涯発達心理学15講/ 編:高橋一公、中川佳子/ 北大路書房 よくわかる発達心理学 第2版/ 編:無藤隆他/ ミネルヴァ書房				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	発達心理学の諸理論を理解し、説明できる。			HSU(1)(2)	
②	各発達段階における特徴を理解し、考察できる。			HSU(1)(2)	
③	各発達段階における人間関係の基本的な知識について理解し、説明できる。			HSU(1)(2)	
④	社会の変化によって生まれるさまざまな課題について理解し、考察できる。			HSU(1)(2)(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	人間発達の特性:生涯発達、遺伝と環境、エリクソンの発達理論について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	2	
2	胎児期、新生児期の発達:五感の発達、生得的な能力について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
3	乳児期・幼児期の発達:ピアジェの発達段階、感覚運動の発達について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
4	コミュニケーションと人間関係の発達①:愛着(アタッチメント)の概念について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
5	コミュニケーションと人間関係の発達②:愛着(アタッチメント)の形成過程を学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
6	言語と遊びの発達:言語発達、遊びの発達について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
7	自己と仲間の中での育ち:自己概念、社会性について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
8	児童期の発達:ピアジェの発達段階、記憶のしくみ、動機づけについて学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
9	青年期の発達:アイデンティティ、青年期の友人関係、親子関係の発達について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
10	成人期の発達:職業選択とキャリア発達、親としての発達について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
11	中年期の発達:中年期の発達と危機について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
12	高齢期の発達:認知機能の加齢変化、サクセフル・エイジング生きがいについて学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
13	発達におけるつまずきの理解①:つまずきの背景にある時代について学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	
14	発達におけるつまずきの理解②:発達障害とは、発達障害児(者)とその家族への支援を学習する。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3	

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

15	これまでの学修の総括を行う。	同時双方向型授業	これまで学んだ内容に関する課題を実施し Teams で提出する。	19				
試	定期試験 到達度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		70	0	0	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	10	50	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ知識の理解及び授業内容に関する自分の意見を述べた上で、考察を行うような問題を出題し、評価する。				試験結果についての総評を行い返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回授業の終わりに小レポートの提出を求める。授業内容について理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどを記述してもらう。				毎回授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、小レポートに記載された質問に回答する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p>教員の実務経験： 臨床心理士として 19 年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容： 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>								